

「手術用顕微鏡OMS-800」の付属品

一般医療機器 特定保守管理医療機器 設置管理医療機器

手術用顕微鏡 JMDNコード36354010

「手術用顕微鏡OMS-850」の付属品

分離タイプ小径120D前置レンズセット MS-FL08

【警告】

分離タイプ前置レンズはレンズに破損が無い事を確認して取り付けること。

[レンズ片が落下して負傷する恐れがあります。]

分離タイプ前置レンズの取り付け、取り外しは患者の上で行わないこと。

[分離タイプ前置レンズが落下して負傷する恐れがあります。]

分離タイプ前置レンズを取り付けた際は、分離タイプ前置レンズを正面方向に90°回転させた状態でのみ、前置レンズIN/OUTレバーを操作すること。

[分離タイプ前置レンズが落下して負傷する恐れがあります。]

分離タイプ前置レンズユニット本体をセット及び収納する際は、分離タイプ前置レンズを正面方向に90°回転させた状態であることを確認すること。

[分離タイプ前置レンズが落下して負傷する恐れがあります。]

分離タイプ前置レンズと術部を調節する際は、分離タイプ前置レンズと患者が接触しないよう確認しながら行うこと。

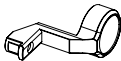
[機器が接触して負傷する恐れがあります。]

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

本品は、分離タイプ小径120D前置レンズ及び分離タイプ前置レンズ滅菌ケース(小)で構成される。

- ・分離タイプ小径120D前置レンズ



- ・分離タイプ前置レンズ滅菌ケース(小)



2. 寸法及び質量

- ・分離タイプ小径120D前置レンズ

寸法: 36.5mm(W)×18mm(D)×29.3mm(H)

質量: 10.5 g

- ・分離タイプ前置レンズ滅菌ケース(小)

寸法: 79.5mm(W)×46.5mm(D)×35mm(H)

質量: 40 g

3. 作動原理

手術用顕微鏡 OMS-800 又は手術用顕微鏡 OMS-850 の対物レンズ下に配置することにより、焦点位置を移動する。

【使用目的、効能又は効果】

手術用顕微鏡 OMS-800 又は手術用顕微鏡 OMS-850 と組合せ、眼底の手術、処置または観察に使用する。

【品目仕様等】

分離タイプ小径120D前置レンズと分離タイプ前置レンズ滅菌ケース(小)で構成する。

【操作方法又は使用方法等】

<使用環境>

温度: 10℃～40℃

湿度: 30%～75%(結露なきこと)

気圧: 700hPa～1060hPa

<取付方法>

1. 手術用顕微鏡 OMS-800 又は手術用顕微鏡 OMS-850 に、同品の基本構成及び別売付属品である分離タイプ前置レンズユニット本体を滅菌して取り付けます。
2. 前置レンズ IN/OUT レバーを時計回りに回し、対物レンズ下方に分離タイプ前置レンズ取付部を取り出します。
3. 分離タイプ前置レンズ取付部が動かないように片方の手で保持しながら、滅菌された分離タイプ小径120D前置レンズを横向きに分離タイプ前置レンズ取付部のピンに奥まで差し込み、正面方向に90°回転させます。
4. 前置レンズ IN/OUT レバーを反時計回りに回して収納し、分離タイプ小径120D前置レンズのセットが完了します。

<使用方法>

1. 手術用顕微鏡 OMS-800 又は手術用顕微鏡 OMS-850 の顕微鏡操作ハンドルを持ち、電磁ロック解除スイッチを押しながら顕微鏡を上方へ約200mm以上上げます。
2. 分離タイプ前置レンズユニット本体の前置レンズ IN/OUT レバーを時計回りに回し、分離タイプ小径120D前置レンズを対物レンズ下方に回転させて分離タイプ小径120D前置レンズを取り出します。
3. 手術用顕微鏡 OMS-800 又は手術用顕微鏡 OMS-850 の前置レンズ連結/非連結ノブを、反時計回りに回して分離タイプ小径120D前置レンズを下方へ移動します。
4. 分離タイプ小径120D前置レンズ使用状態では被手術眼と分離タイプ小径120D前置レンズの間隔が非常に狭く、被手術眼への水の点眼が不可能になるため、予め粘着性物質の眼科手術補助剤を被手術眼の角膜上にできるだけ均一に点眼します。
5. 手術用顕微鏡 OMS-800 又は手術用顕微鏡 OMS-850 の顕微鏡操作ハンドルを持ち、電磁ロック解除スイッチを押したまま、角膜と分離タイプ小径120D前置レンズ下面との距離が約15mmになるように顕微鏡を位置調節します。
6. 顕微鏡を通して見て、X Y 微動レバースイッチ操作及びフォーカスアップダウンスイッチ操作で被手術眼の手術器具挿入用のポートが観察できるようにし、手術器具及び眼内照明プローブを挿入します。その後、再びX Y 微動レバースイッチ操作で被手術眼の中央に移動します。
7. 顕微鏡で眼底像を見ながら、前置レンズ微動スイッチ操作で分離タイプ小径120D前置レンズを下方へ移動して眼底像の視野範囲が徐々に広がっていくことを確認していき、その視野範囲がそれ以上広がらなくなった位置で前置レンズ微動スイッチ操作を終了します。
8. 必要以上に分離タイプ小径120D前置レンズを下げてしまうと前置レンズと角膜が接触して危険ですので、十分注意して本操作を行ってください。被手術眼の状態により異なりますが、角膜と分離タイプ小径120D前置レンズ下面との距離は約5mmです。
9. フォーカスアップダウンスイッチ操作により、観察部位に焦点を合わせます。
10. 顕微鏡照明を消灯し、代わりに眼内照明プローブの照明を点灯させて、眼底を手術、処置または観察します。
11. 分離タイプ小径120D前置レンズを収納する際は、手術用顕微鏡 OMS-800 又は手術用顕微鏡 OMS-850 の顕微鏡操作ハンドルを持ち、電磁ロック解除スイッチを押しながら顕微鏡を上方へ約200mm以上上げます。
12. 分離タイプ前置レンズユニット本体の前置レンズ IN/OUT レバーを反時計回りに回して収納します。

詳細は手術用顕微鏡 OMS-800 又は手術用顕微鏡 OMS-850 「取扱説明書」の「使うための準備」、「使用中の操作」を参照のこと。

取扱説明書を必ずご参照ください

【使用上の注意】

基本的注意事項

分離タイプ小径 120D 前置レンズは使用前に必ず滅菌すること。

使用上の注意事項

1. 高圧蒸気滅菌（オートクレーブ滅菌）によりレンズのコートは徐々に劣化して曇りが生じますので、眼底観察に支障が生じたときは新しいものと交換してください。
2. 手術用顕微鏡 OMS-800 又は手術用顕微鏡 OMS-850 の「取扱説明書」を熟読し、熟練した者以外は機器を使用しないこと。
3. 機器を設置するときは次の事項に注意すること。
 - (1) 水のかからない場所に設置すること。
 - (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に設置すること。
 - (3) 傾斜、振動、衝撃(運搬時を含む)など安定状態に注意すること。
 - (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないこと。
4. 機器を使用する前には、必ず手術用顕微鏡 OMS-800 又は手術用顕微鏡 OMS-850 の第2アームのバランス調節を行うこと。
5. 機器を使用する前には、手術用顕微鏡 OMS-800 又は手術用顕微鏡 OMS-850 の前置レンズユニット固定レバーがLOC側の位置にあり、前置レンズユニットが確実に固定されていることを確認すること。
6. 機器の使用中は次の事項に注意すること。
 - (1) 診断に必要な時間をこえないように注意すること。
 - (2) 機器全般及び患者に異常のないことを絶えず監視すること。
 - (3) 機器及び患者に異常が発見された場合には、患者に安全な状態で機器の作動を止めるなど適切な措置を講ずること。
 - (4) 機器に患者が触れることのないよう注意すること。
7. 機器の使用後は、次の使用に支障のないよう必ず清浄にしておくこと。
8. 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行ない、修理は専門家にまかせること。
9. 機器は改造しないこと。

廃棄

装置を廃棄する場合は、廃棄、リサイクルに関する自治体の条例に従うこと。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

1. 貯蔵・保管（非包装（非梱包）状態）
 - 温度：10℃～40℃
 - 湿度：30%～75%（結露なきこと）
 - 気圧：700hPa～1060hPa
2. 貯蔵・保管（包装（梱包）状態）
 - 温度：-20℃～50℃
 - 湿度：10%～95%
3. 輸送（包装（梱包）状態）
 - 温度：-20℃～50℃
 - 湿度：10%～95%
4. 保管場所については次の事項に注意すること。
 - (1) 水のかからない場所に保管すること。
 - (2) 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響の生ずる恐れのない場所に保管すること。
 - (3) 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意すること。
 - (4) 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないこと。

【保守・点検に係る事項】

1. 使用後はできるだけ早く血液、体液、組織等の汚れを除去し洗浄、消毒、滅菌すること。
2. 機器および部品は必ず定期点検を行なうこと。
3. しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認すること。
4. 分離タイプ小径 120D 前置レンズは、分離タイプ前置レンズ滅菌ケース（小）の中に収納し、以下の方法、条件で滅菌すること。

方 法：EOG（エチレンオキサイドガス）滅菌

ホルマリンガス滅菌

高圧蒸気滅菌（オートクレーブ滅菌）

条 件：使用滅菌装置の滅菌条件を厳守すること。

高圧蒸気滅菌（オートクレーブ滅菌）は、121 の飽和水蒸気内で 25 分間、又は 132 の飽和水蒸気内で 5 分間。

前処理：消毒用アルコール又は蒸留水にて洗浄し、水気を柔らかい布などで拭き取り後完全に乾燥させること。
また、水道水などは不純物を含んでいるので使用しないこと。尚、乾燥が早い消毒用アルコールを推奨する。

【包装】

包装単位：1 セット

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者

株式会社 トプコン

東京都板橋区蓮沼町 7 5 番 1 号

TEL 03-3558-2506

製造業者

株式会社 トプコン